

市民連協 こうほう

No.35



写真撮影：おでかけカメラマン 北村ゆりえ

市民委員会は、発足から60周年を迎えました。日頃より、市民委員会の皆様には、地域の発展と安心、安全で住み良い地域づくりの推進にご尽力を賜り心より感謝申し上げます。この記念すべき年を皆様と迎えられることは、誠に感慨深いものがございます。近年は、コロナ禍による不安や閉塞感、外出自粛などの行動制限により日常生活が大きく変化し、「地域は元気をなくしている」という声が増えます。切実な響きとなって表れてきております。

社会環境が大きく変化していく中で、さまざまな分野にわたり地域住民のニーズや地域課題が複雑多様化してきており、これらの課題に適切に対応していくためには、今、重要なことは、地域社会の人間関係の希薄化や現実の困難な状況を見て、「地域崩壊」を言い立てることではなく、堂々と地域に積み上げてきた人々のつながりの資産を大切にしながら、地域の人々の熱意に加え、さまざまな立場の方々の知恵とノウハウを集めて課題の解決と新しいまちづくりへと向かっていく必要があります。

地域には、暮らしを守り、地域課題の解決に取り組む町内会・市民委員会や各種の市民活動団体等があり、それぞれの責任と役割を自覚し、地域にある社会資源を最大限に活用し、市民参加の促進を図り、地域主体、市民と行政との協働のまちづくりのために社会的使命感と情熱、知恵を絞りあい、互いに連携し、各種の活動を担っていかねばならないと考えます。

市民連協は、全市的な観点から組織の強化と相互に連携を図る組織として、市民委員会活動の活性化、地域と結びついた事業の展開、必要な情報提供や研修、財源の確保、積極的な広報活動等を行い、町内会活動の支援に努めて参りたいと思いますので、皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

終わりに、皆様方の一層のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。広報誌発行のごあいさつといたします。

ごあいさつ



旭川市市民委員会連絡協議会
会長 佐々木 和雄

